

2021 年 3 月 10 日

5 章 誤差逆伝播法

本章では、重みパラメータに関する損失関数の勾配の計算を効率よく行う手法である「誤差逆伝播法」について学ぶ。誤差逆伝播法を正しく理解するには、「数式」と「計算グラフ」の 2 つの方法があるが、まずは「計算グラフ」によって、誤差伝播法を理解していこう。

5.1 計算グラフ

計算グラフとは、計算の過程をグラフで表したものである。ここでいう、グラフとはデータ構造としてのグラフであり、複数のノードとエッジで表現される。

5.1.1 計算グラフで問題を解く

次の問題を計算グラフで表してみよう。

問 1：太郎君はスーパーで 1 個 100 円のリンゴを 2 個買いました。支払う金額を求めなさい。ただし、消費税が 10% 適用されるものとする。